

● 旅の「こだわり」

安心・充実の旅

- 一般観光旅行とは異なるテーマや趣旨に沿った旅づくり
- 観光を短縮するような買物めぐりはしません！
- 詳しい資料やきめ細やかなご案内-安心・充実の旅
- 格安ツアーに見られる「安かろう・悪かろう」にしない「こだわり」の旅

● ご旅行条件（要約）

●募集型企画旅行契約  
この旅行は株式会社ユーラス（以下「当社」）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加するお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」）を締結し、(株)ユーラストラベルが問合せ・申込みを受け付けます。条件は下記他、別途旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終旅行日程表＝確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行条件・旅行代金の基準  
この旅行条件は2018年9月1日を基準としています。また、この旅行代金は2018年9月1日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は2018年9月1日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

●旅行契約の解除  
最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前（ピーク時は33日前）迄にお知らせします。

●取消料  
旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される場合は、下記の金額を取消料として申し受けます（お一人様）。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って40日目にあたる日以降～31日目【ピーク時】4/27～5/6,7/20～8/31,12/20～1/7に開始する旅行	旅行代金の10%

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。※査証（ビザ）取得実費代金、渡航手続手数料は、そのまま申し受けます。

- 旅行代金に含まれるもの（一部例示）
- ・航空運賃：旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
  - ・宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料
  - ・食事代：旅程に表記のもの
  - ・空港、駅～ホテル間の送迎車料金
  - ・添乗員同行の経費（同行と明示した場合）
  - ・鉄道運賃（旅程に明示したもの）
  - ・旅程に明示した市内（郊外）見学のガイド料、入場料、チップ

- 旅行代金に含まれないもの（一部例示）
- ・旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
  - ・渡航手続費用：旅券印紙代（新規に申請される場合）
  - ・渡航手続手数料：出入国記録等書類作成費用、査証（ビザ）取得実費・手数料
  - ・超過手荷物料金：規定の重量・大きさ・個数を超える分

- ・個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
- ・一人部屋追加料金（相部屋の方がいない場合も同様）
- ・空港施設使用料、航空保険料および保安料
- ・訪問国入国税、燃油特付付加運賃
- ・日本国内の交通費、前泊の費用、ポーター
- ・任意の海外旅行傷害保険料、オプション料金

●その他（1）旅行代金はお一人分を表示しています。（2）当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名記入の際には、使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行替え、関係する機関への氏名訂正などが必要で、この場合、当社は第15条「旅行者の交替」に準じ、交替手数料をいただきます。なお、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には、「旅行契約後の取消」に準じて手数料をいただきます。

●当社の募集型企画旅行にご参加いただくことにより、航空会社のマイレージを受けられる場合がありますが、同サービスに関わるお問合せ、登録等はお客様自身で当該航空会社へ手続きいただきます。

●時間帯の目安  
以下の通りです。航空機、バス等の移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4時	6時	8時	12時	17時	19時	23時

● 問合せ・申込先

東京都知事登録旅行業 第3-6973号 日本旅行業協会正会員 株式会社ユーラストラベル  
総合旅行業取扱管理者：榊原晋治

“いい旅”育てて57年

ユーラス ユーラスツアーズ

☎ 03-6453-6633

FAX 03-6453-6630 団体旅行課（滝澤・榊原・徳植）

〒108-0014 東京都港区芝5-13-18 いちご三田ビル9階

● Eメール : tokyo@euras.co.jp

● URL : http://www.euras.co.jp

● 営業日：平日（月～金曜日）9:30～17:30 / 土・日曜日、祝日は休みです

※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです。

観光庁長官登録旅行業第1906号 日本旅行業協会正会員

株式会社タビーズ

〒108-0014 東京都港区芝5-13-18 いちご三田ビル9階

● 申込み方法

1 当パンフレットの「参加予約票」をお送りください

下記の「参加予約票」にご記入の上、旅行社宛にご連絡ください。※お電話、メールにてのお問合せ・お申込み希望のご連絡でも受け付けいたします。※当社ホームページからでも可。「正式申込書」にご記入⇒添付してメールあるいはFAX可。

2 正式申込みに必要な書類を旅行社からご案内

「参加予約票」のご連絡後、旅行社より正式申込書と諸条件書類から旅行保険申込書等をお送りします。※書類到着後に条件を確認いただき、正式申込書の手続きをお願いします。

3 正式申込み手続き（下記①②が旅行社に到着し正式申込み完了）

- ①正式申込書ご記入の上、旅行社へお送りください。
- ②申込金（旅行費用内金）50,000円を下記口座へお振込みください。

- ▶口座名義：(株)ユーラストラベル
- ゆうちょ銀行 記号番号 00180-8-265002（〇～九店）
- みずほ銀行 神谷町支店（普）口座番号：1370507
- りそな銀行 麻布支店（普）口座番号：1782149

※領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替りとしています。別途必要な方はお申し付けください。

参加予約票 安部愷三先生が同行・解説 「平和国家」コスタリカの選択と政策を学ぶ旅

（ユーラスツアーズ宛）

①	氏名	フリガナ:	電話
	住所		FAX
②	氏名	フリガナ:	携帯
	住所		メール

- ユーラスツアーズを利用したことが ある ない
- 一人部屋を希望 する しない
- オプション・ツアーに申込みを する しない

※当「参加予約票」をお送りいただいた後、旅行社より申込みに必要な諸案内をご住所へお送りいたしますので、渡航手続きを書面に沿ってお進めください。

軍隊廃止  
軍事費  
ゼロの国

理学博士、日本原水協常任理事

安部愷三先生が同行・解説！

—「非武装中立」を合言葉に平和へ歩みをすすめた—

# コスタリカの 選択と政策を学ぶ旅

サン・ホセ  
モンテベルデ 8日間

期間 2018.12/9(日)▶12/16(日)

費用 387,000円 (※燃油代・諸税別)

締切 11/5(月) 申込み先着順 発着 成田

映画『積極的平和国家の作り方』の舞台訪問ツアーの特色

- 大自然エコ・ツーリズムを体験
- 軍隊廃止と選挙制度、核兵器禁止条約を実現した背景と国民の意識について懇談
- 再生可能エネルギー利用の実態見聞
- コスタリカの歴史と文化にもふれる
- メキシコのティオティワカン遺跡見学も！



ユーラス ユーラスツアーズ

旅行代金・諸条件	
旅行期間	2018年12月9日⑨～12月16日⑨ 8日間
旅行代金	387,000円 (※2名1室利用)
実施人数	30名様(最低実施人数15名様) ※15名未満の場合は、旅行費用変更して参加有無を改めて伺います
申込締切	11月5日⑨ ※定員になり次第、締切ります
別途費用	燃油サーチャージ: 26,500円 / 訪問国諸税: 9,250円 成田施設使用料・航空保険料: 2,610円 ※燃油代・諸税は航空券発券時の換算率によって増減します
一人部屋追加	52,500円 ※相部屋の方がいない場合も要追加費用
日本発着空港	成田空港のみ ※日本国内航空便を希望の方は、お問合せください
▶利用航空会社: エアロ・メヒコ航空 ▶利用予定ホテル: サン・ホセ(ラディソン/ウイングダムガーデン/パルセロ/ホリディン/パークイン/マリオート)、モンテベルデ(カントリーロッジ/モンターニャ/ミラモンテ) ※3〜4ツ星利用(バスタブのない場合もあります) ▶添乗員同行(1名)	

スケジュール	食事(朝・昼・夕)	宿泊地
<b>1</b> ●午後(15:25)成田発→空路、メキシコシティへ(12:45)着 ▶乗継時間(9時間)を有意義に過ごすオプション・コースを設定 <b>OP ラテン・アメリカ最大の都市遺跡ティオティワカン見学</b> =◎ケツアルコアトルの神殿と◎ケツアルコアトルの宮殿、◎太陽の塔、◎死者の道 ●夜(21:45)メキシコシティ発→空路、コタリカスの首都サン・ホセへ ●深夜(00:50):着後、ホテルへ <b>食事</b> ☒ ☒ ☒ サン・ホセ		
<b>2</b> ●午前: <b>小休憩</b> (※出発までホテルの部屋でお休みください) ●昼頃: 専用車にて昼食レストランへ出発 ●午後: <b>サン・ホセ市内見学</b> =コスタリカの歴史を展示する● <b>国立博物館</b> 、新古典主義建築の◎ <b>国立劇場</b> 、古代文明の黄金装飾を展示する● <b>黄金博物館</b> 、街の中心◎ <b>文化広場</b> 、◎ <b>メトロポリタン大聖堂</b> 、◎ <b>郵便局</b> ●夕刻: <b>コスタリカ伝統料理を楽しみながら夕食交流会</b> 食後、ホテルへ <b>食事</b> ☒ ☒ ☒ ☒ サン・ホセ		
<b>3</b> ●午前: <b>コスタリカの「平和」政策について関係各所を訪問</b> ◆ <b>軍隊廃止と軍事予算をゼロ</b> → <b>社会保障に振り分けた経緯と成果</b> ◆ <b>核兵器禁止条約を実現した歴史的快挙について</b> ◆ <b>地球幸福度指数(HPI)世界一位(2016年度)の国民の暮らしの実態</b> ●午後: <b>コスタリカの「選挙」制度について関係各所を訪問</b> ◆ <b>司法・行政・立法の3権から独立した「第4権」としての役割</b> ◆ <b>選挙=民主主義・平和・幸福という考え方と制度について</b> ●夕刻: <b>夜景鑑賞とディナーショー</b> ※2日間の視察・訪問先は未定 <b>食事</b> ☒ ☒ ☒ ☒ サン・ホセ		
<b>4</b> ●午前: <b>「再生可能」エネルギー利用について関係各所を訪問</b> ◆ <b>自然(再生)エネルギー発電が限りなく100%に近い実態と施策について</b> ◆ <b>環境保護との関係、「平和主義」の考えがもたらす結果について</b> ●午後: <b>サン・ホセ市内見学</b> (※あるいは視察予備スケジュールとして) ※視察訪問先の都合上、変更の可能性有り <b>食事</b> ☒ ☒ ☒ ☒ サン・ホセ		
<b>5</b> ●午前: <b>サン・ホセ発(約70km)→陸路</b> 、コスタリカが誇る大自然を堪能できるタルコレスへ ●着後: <b>カララ国立公園のボート遊覧</b> =巨大ワニやガンカンドリ、コンゴウインコなどの水生生物・野鳥が生息する亜熱帯雨林特有の環境がもたらす <b>動植物の宝庫「中米の花園」</b> の一端を見学 ●午後: <b>タルコレス発(約90km)→陸路</b> 、 <b>エコ・ツーリズム発祥の地</b> といわれる <b>モンテベルデ</b> へ ●夕刻: <b>郷土料理の夕飯</b> <b>食事</b> ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ <b>モンテベルデ</b>		
<b>6</b> ●午前: <b>モンテベルデ自然保護区の見学</b> =神秘的な <b>熱帯雲霧林</b> の中を『 <b>空中ゴンドラ</b> 』に乗車し、 <b>スカイウォーク</b> と呼ばれる <b>有名な吊り橋</b> へご案内 ●午後: <b>モンテベルデ発(約140km)→陸路</b> 、再び首都 <b>サン・ホセ</b> へ ●着後: <b>夕食</b> <b>食事</b> ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ <b>サン・ホセ</b>		
<b>7</b> ●午前: ホテル発(約20km)→陸路、空港へ ●午後(12:30) <b>サン・ホセ発</b> →空路、 <b>メキシコシティ</b> へ(15:55)着 ▶乗継時間(約9時間)を有意義に過ごすオプション・コースを設定 <b>OP メキシコ郷土料理と民族音楽レストランでの夕食</b> ●深夜(00:35) <b>メキシコシティ</b> 発→ <b>食事</b> ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ <b>機中</b>		
<b>8</b> 空路、帰国の途中へ ●午前(06:20) <b>成田</b> 着 <b>食事</b> ☒ ☒ ☒ ☒ ☒		
註: ☒印=食事付き、☒印=自由食、☒印=機内食、OP=オプション・ツアー ●印=入場見学、◎印=下車見学、○印=車窓見学、→=航空機		

理学博士、日本化学会 50 年会員  
 全国花の色素研究者の会長  
 文化財保存修復学会会員

あべ けんぞう  
**安部 愷三氏**

同行講師

●プロフィール●  
 東京都生まれ(1941)、埼玉大学文理学部卒  
 東京教育大学大学院理学博士課程修了  
 埼玉大学、明治学院大学、跡見短大、中央大学で講師を勤め、日本科学者会議東京支部元部長を経て、現在は日本原水協常任理事、原住連代表委員、日本ユースアジア協会全国理事、日中友好協会東京都連常任理事、世田谷(革新懇、9条の会、自治研)区内でも活動中

## 街 中心都市と熱帯雲霧林の自然保護区



●**自然保護と平和・教育・文化の中心 - コスタリカの首都**

首都サン・ホセが位置する中央盆地は、南西部を占める山地の険しい傾斜と北東部に連なる四大大火山の裾野が形成する標高 800~1400 ㍎の高原盆地です。  
 東西に 24 ㍎・南北に 65 ㍎の起伏に富むこの地は、グランデ川とレバントソン渓谷によって、隣接地域から切断されています。  
 町の歴史は 1737 年の入植にさかのぼり、過去に何度も火山が噴火して、排出した浸透性の灰によって肥沃な土壌がつくれ、コーヒー栽培に適したことから土地が開発され、コーヒー産業で発展してきました。1823 年には首都カルタゴと政治的に対立~戦闘の末に勝利して新たな首都となった。  
 現在は、様々な産業も発達し、とりわけハイテク分野の経済成長が著しい工業国へと変貌を遂げた姿が見て取れます。



●**熱帯雲霧林という独特の生態系をもつ自然保護区**

首都サン・ホセから北西・約 140 ㍎に位置するモンテベルデ自然保護区。独特の生態系を持つことで、多くの研究者から注目され、熱帯雨林の研究や自然保護教育の貴重な場ともなっている。  
 多種多様な動植物が生息し、とくに鳥類は非常に多く、400 種類以上が確認されています。様々な色や大きさのハチドリ、古代マヤの聖鳥でグアテマラの国鳥に指定されているケツアルが見られることでも知られ、多くの野鳥愛好家の憧れの地。  
 「国立」の公園ではなく、民間団体によって管理・運営されている保護区で、アメリカから自由を求めてきた教徒が、理想郷を見出して、土地を購入したことが始まりと言われています。  
 現在、管理は熱帯科学研究所に移管され、寄付や保護区の入場料で運営されています。

● **コスタリカ憲法の「平和主義」**

1948 年の内戦の教訓から新政権が 49 年に作成した憲法には、社会福祉や公共サービスの制度化、選挙最高裁判所の設置を核とした不正選挙の防止、これまで強権をふるってきた行政権の制限を盛り込む。  
 憲法に盛り込まれた非武装主義による軍部の廃止がある。特に常備軍としての国軍の廃止を規定した 12 条は、「平和憲法」として高い評価を得る。軍部による政権奪取を不可能とした上で、選挙による政権交代を重ね民主的で平和な国づくりに全力を挙げてきた。

▶**コスタリカ憲法第 12 条**: 常設機関としての軍隊は禁止される。公共の秩序の監視と維持のため、必要な警察力を持つものとする。大陸協定もしくは国防衛のためにのみ軍力を組織することができる」と定め、「いずれの場合も各軍は常に文民権力に従属し、個別的であると集団的であるとを問わず、合議も表明もすることができない」=軍隊は持てるし戦争もできる。他国の戦争に参加することも可能。(大陸協定とは実質的に米州機構などを指す)  
 ※**法解釈**: コスタリカは、常備軍保持はもちろんのこと、有事の際の再軍備も「できない」というのが、政府・公安省・法学者ばかりか、一般市民にもコンセンサスとして共有されている。(=軍隊の保持と個別的・集団的であることを問わず、交戦権を明確に否認している憲法 9 条をもつ日本政府とは考え方が大きく異なっている)

## 軍隊の廃止・「平和」を選択

「非武装中立」は国民のイデオロギーとなり  
 欧州・中米諸国との連帯 & アメリカからの自立の思想

支配・併合~そして独立を経て発展したコスタリカ。第二次大戦後の世界大恐慌の影響で失業者が増大。共産党が結成され労働運動が激化し、警察部隊との衝突、内政安定を図るため教育制度の充実・労働環境改善などの政策が実施され人民主義政治へ移行。48 年の選挙で親米派が政権を取るが立法議会が不承認。憲法違反とし解放軍を結成し、大勢の死者を出す武装蜂起に発展。勝利した親米派は、翌 49 年に新憲法を策定=社会福祉や公共サービスの制度化、選挙最高裁判所の設置を核とした不正選挙の防止、強権をふるってきた行政権の制限を盛り込む。その大胆な改革の中、軍事クーデターの防止と経済回復を図る現実的な思惑から軍事費を削減・復興に充て、軍隊を廃止する。  
 以降、ニカラグア侵攻や革命による米国の介入、東西冷戦の構図を中米地域に持ち込む米政府の干渉が強まる中、「永世非武装中立」を宣言。アメリカの支援か、平和を選ぶかを迫られる中、国民の大多数が軍隊配備に反対し、「平和」を選択した。

## 再生可能エネルギーを活用

地球全体への温暖化防止に寄与！ 理想とされる  
 再生可能エネルギー使用をほぼ完成させているコスタリカ

明らかな熱帯地方であるコスタリカ。富士山よりも高い山がそびえ、割合広めの高原地帯を有することから、気候の耐用性は半端でないものがある。私たちの訪れる 12 月は乾季にあたり、熱帯ではあり得ない乾いた適温の気候に出会うことになる。首都サン・ホセは快適な天候を与えてくれると思う。  
 多雨であることから水力発電は盛んであり、四苦八苦しているアメリカ本国の石油消費は、ほとんど必要ない。一時はコーヒー、バナナのみが輸出商品でしかなかったが、政策変更で工業製品がその上位を占めるようになってきている。火山も有るので日本にならって地熱発電も有らしい。カーボン・ニュートラルを強調した取り組みで、地球全体への温暖化防止には寄与でき、将来的には私たちの理想とする再生可能エネルギー使用をほぼ完成させているのがコスタリカである。

水力	76%
地熱	12%
風力	4%
バイオマス	1%
火力	7%

## 核兵器禁止条約の実現

「核兵器禁止条約」の国連で 2017.7 月 7 日、122 カ国の賛成で可決成立した際の議長がコスタリカの大使

非武装中立、軍隊の無い平和条約をもつ国として広く知られるコスタリカ。歴史的背景、様々な情勢や思惑があったにせよ、コスタリカの人びとの努力の結晶が生み出した成果。  
 核兵器をなくそうという「核兵器禁止条約」は、国連で、昨年 2017 年に多数国の賛成で可決成立する。これは国連の通常の会議なので、核保有 5 カ国の反対は効かない。このときの会議の議長はエレン・ホワイト、コスタリカの大使である。  
 広島・長崎に原爆が落とされたのが 1945 年、実に 72 年ぶりに原爆を落としたアメリカが世界の国々からお叱りを受けたことになる。国連の第一のトップ会議は、安全保障理事会(安保理)で、これを支配してきたのは第二次世界大戦の戦勝国 5 大国(米、ソ、英、仏、中)。この古い体制を「核兵器禁止条約」の採択がはじめて打ち出したのだ。  
 アメリカ言いなりの国と反して、女性の地位向上を法制化、つい最近「核兵器禁止条約」を正式に批准したコスタリカは、世界平和の先頭に立っている。

## 大自然エコ・ツーリズム！

多様で独特の気候が有する多種多様な動植物の宝庫  
 コスタリカが誇る大自然は、国家の政策として守られている

コスタリカは、亜熱帯地方にありながら、カリブ海と太平洋に挟まれ、以外と標高の高い高原地帯を含み、一様な亜熱帯雨林ではない多様な気候を有することから、生物種の多様さを誇っている。  
 しかも生物多様性を十分に国策に反映させた政策をとっていることから、新種の生物種の発見、保存などに世界の学者たちが、各種業界が目目せざるを得ない状況になっている。  
 この自然遺産を利用するための政策として活かされ、その成果をエコ・ツーリズムという形で世界の人びとに解放されていることが重要である。アマゾンなどに比べれば、ほんの一握りの土地でしかないのに、これだけ熱帯雨林の資源が有効に活用されているのは、まさしく人の智慧の問題である。それを実現させているのは、政府の政策に帰するところがある。

**オプション・ツアーのご案内** ●料金: **36,500 円** (※お一人様料金) ※当旅行でのオプション・ツアーは、往路、復路の乗継時間を有効利用するために設定しました。※2 コースセットとなっています。片方のみのご参加は不可となりますので、ご注意ください。

**「古代都市ティオティワカンの半日小旅行」**

南北アメリカ大陸(ラテン・アメリカ)最大級の都市遺跡。幅 40 ㍎、長さ 5 ㍎の大通りが都を貫き、5 世紀には 15 万人が暮らし繁栄を謳歌したが、忽然と姿を消した謎が残る世界文化遺産。 **1 日目/メキシコシティ**

●日時: 12 月 9 日⑨ 19 時 00 分頃スタート  
 ●所要: 最大 6 時間  
 ●催行: 10 名様以上で催行  
 ●条件: 日本語ガイド、往復送迎車、入場料込み  
 ※当日の天候によっては変更になる場合がございます。

**「メキシコ郷土料理と民族音楽鑑賞の夕飯」**

日本でも馴染み深くなってきているメキシコ料理(タコスなど)と陽気なラテンの音楽が楽しめるレストランへご案内します。 天気の良いれば、夜景も楽しめます。 **7 日目/メキシコシティ**

●日時: 12 月 15 日⑨ 17 時 00 分頃スタート  
 ●所要: 最大 5 時間  
 ●催行: 10 名様以上で催行  
 ●条件: 日本語ガイド、往復送迎車、夕食・鑑賞料込み  
 ※飲み物代は別途各自払い